

精密工学科プログラミング基礎

第5回資料 (11/12実施)

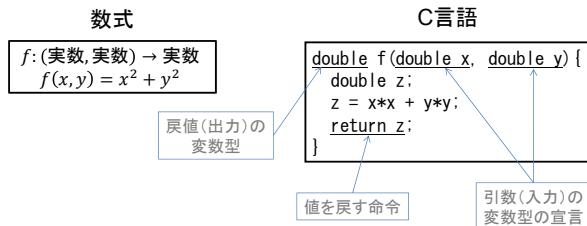
今回の授業で習得してほしいこと:

- 関数
 - 定義・呼出の方法
 - 変数のスコープ
- ポインタ
 - 意味
 - 関数へのポインタ渡しの方法

資料のURL: <http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~tohtake/>

関数とは？

- ある計算式(処理)を入力を変えて複数回行いたいときに便利



- sin 関数 "double sin(double x)" などは <math.h> の中に定義がされている
- "int main(void)" も関数であり、C 言語では最初に呼び出される関数
 - "void" は引数なしを表す
 - 最後に "return" する値は、0なら正常終了、-1なら異常終了を表す。

関数の定義のしかた

- main 関数の外側に定義する
 - ケース④: main より上を書くなら定義だけ
 - ケース⑤: main より下ならプロトタイプ宣言だけ上を書く

```
ケース④
#include <stdio.h>

double f(double x, double y) {
    double z;
    z = x*x + y*y;
    return z;
}

int main(void) {
    ...
}

int main(void) {
    ...
}

ケース⑤
#include <stdio.h>

double f(double x, double y);

int main(void) {
    ...
}

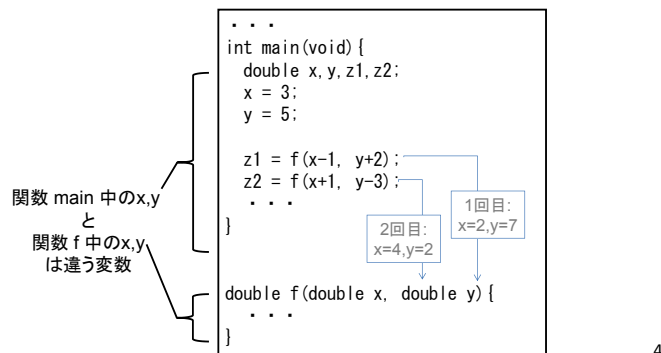
double f(double x, double y) {
    double z;
    z = x*x + y*y;
    return z;
}
```

注: C言語コンパイラは未宣言の関数・変数の解釈を後回しにできない

こちらの方が一般的 →

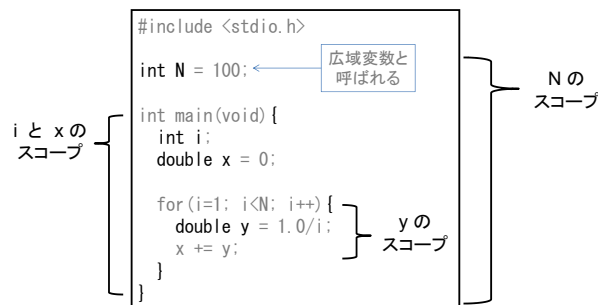
関数の呼び出し

- いままで使ってきた関数と同じ
- 同じ変数名でも、関数が違えば別物



変数のスコープ

- 中括弧 "{ ... }" の中で宣言したら、その中でのみ利用することができる



2つの引数を交換する関数を作りたい

- 以下の関数は機能しません

```
...
int main(void) {
    int a = 1;
    int b = 3;
    swap(a, b);
    printf( "%d, %d\n" , a, b);
}

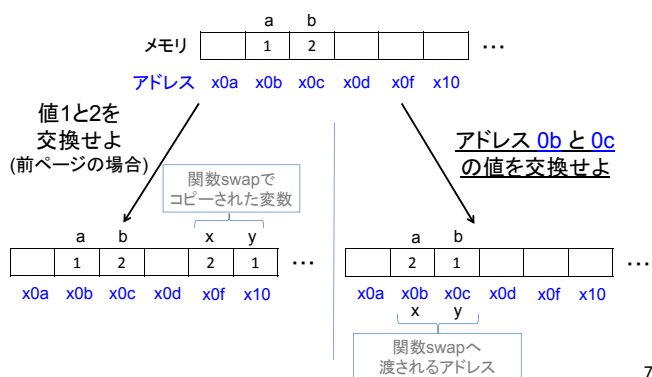
void swap(int x, int y) {
    int t = x;
    x = y;
    y = t;
}
```

注: x と y を交換する関数 (戻値はなし)

注: 1, 3 と表示される

理由: 関数 swap の変数は呼び出し時にコピーされるから (広域変数を使えばできるが、入力を変更して何度も呼び出すことはできない)

では、どうすればよいか？ 変数の場所(アドレス)を使う



アドレスの扱い方

- 普通の変数 (int 型の場合)
 - 宣言 int a
 - 値 a
 - アドレス &a (すでにscanf で利用済み)
 - アドレスへのポインタ変数 (int 型の場合)
 - 宣言 int* p
 - 値 *p
 - アドレス p
- 注: 同じ * 記号なのに意味が違うので注意 (これがポインタに関する混乱の元凶!)

アドレス渡しを用いた 2つの値を交換する関数

- ポインタ変数とわかるように "p_"などを付けるとよい

```
...
int main(void) {
    int a = 1;
    int b = 3;
    swap(&a, &b);
    printf( "%d, %d\n" , a, b);
}

void swap(int* p_x, int* p_y) {
    int t = *p_x;
    *p_x = *p_y;
    *p_y = t;
}
```

注: int 型のアドレスを渡す

注: 入力アドレスなので int* 型で宣言

注: ポインタの指す値なので * を付ける